

平成 29 年度「海の時間」年間指導計画 第 1 学年

学期	区分・単元名	時数	目標	学習活動	評価規準
一学期	A 海・磯に行ってみよう！	4	校区の海・磯・砂浜での遊びや生き物等のふれ合いを通して、海の自然に親しみ進んで海に関わることができる。	春の遠足で天満の磯に行って、磯ものをとったり、タイドプールなどの生き物をとったりして地元の磯で楽しく過ごす。	【関】海の自然に親しみ進んで海に関わろうとしている。
	A 海の絵を描こう！	3	海や磯、砂浜で遊んだ経験を絵で表現することができる。	友達と一緒に、海の生き物をとっている様子の絵を描く。	【関】海で遊んだ経験を進んで絵に描こうとしている。
	B 海の先生に教えてもらおう！	2	校区でみられる海の生物についてのお話を聞き、進んで調べることができる。	地域の海に詳しいゲストティーチャーのお話を聞く。	【関】ゲストティーチャーのお話を聞き、感想を持つことができる。
	C 大浜をきれいにしよう！	2	大浜の清掃作業を通して、汚れの実態に気づくとともに、海の自然を守っていこうとする気持ちを持つことができる。	縦割り班で、分担場所を決め、協力して清掃作業をする。	【関】班で協力して、進んで清掃作業に取り組もうとしている。
	D 玉の浦で遊ぼう！ (泳ごう！)	2	海に入るときに気を付けることを理解し、海水浴に楽しく参加することができる。	全校で、玉の浦に海水浴に行き、注意を守り、楽しく海水浴に参加することができる。	【知】海で泳ぐときに注意することを理解し、そのことを守って海水浴を楽しむことができる。
二学期	C 海ガメを見送ろう！	2	孵化した海ガメを放流することを通して、海ガメに対する愛着を深め、自然を愛する心情を養う。	全校で、大浜に行き、海ガメを放流する。	【関】海ガメがまた、大浜にもどってくることを願いながら、海ガメを放流することができる。
	B 紀の松島巡りに行こう！	5	紀の松島を知ることにより、地域の自然の素晴らしさに気づき、大切にしようとするすることができる。	紀の松島巡りの遊覧船に乗り、海や島の様子を知ることができる。	【技】紀の松島巡りの感想を述べることができる。

(区分 A：海に親しむ B：海を知る C：海を守る D：海を利用する)

平成 29 年度「海の時間」年間指導計画 第 2 学年

学期	区分・単元名	時数	目標	学習活動	評価規準
一学期	A 海・磯に行ってみよう！	4	校区の海・磯・砂浜での遊びや生き物等のふれ合いを通して、海の自然に親しみ進んで海に関わることができる。	春の遠足で天満の磯に行って、磯ものをとったり、タイドプールなどの生き物をとったりして地元の磯で楽しく過ごす。	【関】海の自然に親しみ進んで海に関わろうとしている。
	A 海の絵を描こう！	3	海や磯、砂浜で遊んだ経験を絵で表現することができる。	友達と一緒に、海の生き物をとっている様子の絵を描く。	【関】海で遊んだ経験を進んで絵に描こうとしている。
	B 海の先生に教えてもらおう！	2	校区でみられる海の生物についてのお話を聞き、進んで調べることができる。	地域の海に詳しいゲストティーチャーのお話を聞く。	【関】ゲストティーチャーのお話を聞き、感想を持つことができる。
	C 大浜をきれいにしよう！	2	大浜の清掃作業を通して、汚れの実態に気づくとともに、海の自然を守っていこうとする気持ちを持つことができる。	縦割り班で、分担場所を決め、協力して清掃作業をする。	【関】班で協力して、進んで清掃作業に取り組もうとしている。
	D 玉の浦で遊ぼう！ (泳ごう！)	2	海に入るときに気を付けることを理解し、海水浴に楽しく参加することができる。	全校で、玉の浦に海水浴に行き、注意を守り、楽しく海水浴に参加することができる。	【知】海で泳ぐときに注意することを理解し、そのことを守って海水浴を楽しむことができる。
二学期	C 海ガメを見送ろう！	2	孵化した海ガメを放流することを通して、海ガメに対する愛着を深め、自然を愛する心情を養う。	全校で、大浜に行き、海ガメを放流する。	【関】海ガメがまた、大浜にもどってくることを願いながら、海ガメを放流することができる。
	B 紀の松島巡りで学習したことや調べたことをまとめよう！	5	紀の松島巡りについて、学習したことや調べたことをまとめ、発表することができる。	紀の松島巡りの遊覧船に乗り、海や島の様子を知ることができる。調べたことをまとめる。	【技】紀の松島巡りで調べたことを自分なりの表現でまとめることができる。

(区分 A：海に親しむ B：海を知る C：海を守る D：海を利用する)

平成 29 年度「海の時間」年間指導計画 第 3 学年

学期	区分・単元名	時数	目標	学習活動	評価規準
一学期	A 海・磯に行ってみよう！	4	校区の海・磯・砂浜での遊びや生き物等とのふれ合いを通して、海の自然に親しみ海の生き物等について関心を持つとする	春の遠足で天満の磯に行って、磯ものをとったり、タイドプールなどの生き物をとったりして地元の磯で楽しく活動する。	【関】海の自然に親しみ進んで海や海の生き物に関心を持つとしている。
	A 海の絵を描こう！	3	漁港でみた市場の様子やそこで働く人、漁船などを絵で表現することができる。	勝浦漁港等に写生会に行き、勝浦漁港の様子を絵で表現する。	【関】漁港の様子を進んで絵に描こうとしている。
	B 海の先生に教えてもらおう！	2	校区でみられる海の生物についてのお話を聞き、進んで調べることができる。	地域の海に詳しいゲストティーチャーのお話を聞く。	【関】ゲストティーチャーのお話を聞き、感想を持つことができる。
	B 津波の秘密①	2	津波の様々な特徴（津波の威力等）について理解することができる。	「(県) 防災教育指導の手引」等をつかって、津波の様々な特徴（津波の威力）等について学習する。	【知】津波の特徴について理解することができる。
	C 大浜をきれいにしよう！	2	大浜の清掃作業を通して、汚れの実態に気づくとともに、海の自然を守っていこうとする気持ちを持つことができる。	縦割り班で、分担場所を決め、協力して清掃作業をする。	【関】班で協力して、進んで清掃作業に取り組もうとしている。
	D 玉の浦で遊ぼう！（泳ごう！）	4	海に入るときに気を付けることを理解し、海水浴に楽しく参加することができる。	全校で、玉の浦に海水浴に行き、注意を守り、楽しく海水浴に参加することができる。	【知】海で泳ぐときに注意することを理解し、そのことを守って海水浴を楽しむことができる。
二学期	B くじらの博物館へ行こう！	4	くじらの博物館に行き、クジラやイルカの知識を深め、身近に接し海の生き物と親しむことができる。	くじらの博物館へ行き、飼育員さんからクジラやイルカの生態の話聞き、ふれ合う。	【関】海の生き物に興味を持ち、調べようとする。 【知】クジラやイルカの体のつくりや生態について理解することができる。
	B 海の先生に教えてもらおう！	2	浦神の漁港に行き、漁師さんからお話を聞き、ふれ合おうとするができる。	浦神漁港に行き、漁師さんのお話を聞き、触れ合う。	【関】興味・関心を持って、漁師さんのお話を聞くことができる。
	B 津波の秘密②	1	津波からの避難の必要性を知り、避難の方法を理解することができる。	「(県) 防災教育指導の手引」等を使って、津波からの避難の必要性や避難の方法を学習する。	【知】津波関連標識の意味を理解し、高台へ避難する必要性を理解する。

(区分 A：海に親しむ B：海を知る C：海を守る D：海を利用する)

平成 29 年度「海の時間」年間指導計画 第 4 学年

学期	区分・単元名	時数	目標	学習活動	評価規準
一学期	A 海・磯に行ってみよう！	4	校区の海・磯・砂浜での遊びや生き物等とのふれ合いを通して、海の自然に親しみ海の生き物等について関心を持つとする	春の遠足で天満の磯に行って、磯ものをとったり、タイドプールなどの生き物をとったりして地元の磯で楽しく活動する。	【関】海の自然に親しみ進んで海や海の生き物に関心を持つとしている。
	A 海の絵を描こう！	3	漁港でみた市場の様子やそこで働く人、漁船などを絵で表現することができる。	勝浦漁港等に写生会に行き、勝浦漁港の様子を絵で表現する。	【関】漁港の様子を進んで絵に描こうとしている。
	B 海の先生に教えてもらおう！	2	校区でみられる海の生物についてのお話を聞き、進んで調べることができる。	地域の海に詳しいゲストティーチャーのお話を聞く。	【関】ゲストティーチャーのお話を聞き、感想を持つことができる。
	B 津波の秘密①	2	津波のおき方や津波の様々な特徴（津波の威力等）について理解することができる。	「(県) 防災教育指導の手引」等をつかって、津波の様々な特徴（津波の威力）等について学習する。	【知】津波の特徴について理解することができる。
	C 大浜をきれいにしよう！	2	大浜の清掃作業を通して、汚れの実態に気づくとともに、海の自然を守っていこうとする気持ちを持つことができる。	縦割り班で、分担場所を決め、協力して清掃作業をする。	【関】班で協力して、進んで清掃作業に取り組もうとしている。
	D 玉の浦で遊ぼう！（泳ごう！）	4	海に入るときに気を付けることを理解し、海水浴に楽しく参加することができる。	全校で、玉の浦に海水浴に行き、注意を守り、楽しく海水浴に参加する。	【知】海で泳ぐときに注意することを理解し、そのことを守って海水浴を楽しむことができる。
二学期	A くじらの博物館に行こう！	4	くじらの博物館に行き、クジラやイルカの知識を深め、身近に接し、調べたことをまとめることができる。	くじらの博物館へ行き、飼育員さんからクジラやイルカの生態の話聞き、触れ合い、調べたことをまとめる。	【技】くじらの博物館で調べたことを自分なりの表現でまとめることができる。
	B 海の先生に教えてもらおう！	2	浦神の漁港に行き、漁師さんからお話を聞き、ふれ合おうとすることができる。	浦神漁港に行き、漁師さんのお話を聞き、触れ合う。	【関】興味・関心を持って、漁師さんのお話を聞くことができる。
	B 津波の秘密②	1	津波からの避難方法を知る。（津波 3 原則）	「(県) 防災教育指導の手引」等を使って、津波からの避難の必要性や避難の方法を学習する。	【関】【知】津波避難 3 原則を理解し、実践しようとする態度を育てる。

(区分 A：海に親しむ B：海を知る C：海を守る D：海を利用する)

平成 29 年度「海の時間」年間指導計画 第 5 学年

学期	区分・単元名	時数	目標	学習活動	評価規準
一学期	A 海の絵を描こう！	3	漁港に行って、漁船などを絵で表現することができる。	漁港に写生会に行き、漁船等の絵を描く。	【関】漁港に行って、漁船などを進んで絵に描こうとしている。
	B 海ガメを調べ育てよう。	7	「海ガメの飼育・調査」の学習を通して、海の自然について理解を深め、進んで環境を守ろうとする態度を育てる。	リップルズクラブの方々からお話を聞き、海ガメの飼育・観察を行い、その経験等をまとめ、発表する。	【関】海ガメの飼育・観察に積極的に取り組もうとしている。 【技】海ガメの飼育・観察した経験をまとめ、発表することができる。
	C 大浜をきれいにしよう！	2	大浜の清掃作業を通して、汚れの実態に気づくとともに、海の自然を守っていかうとする気持ちを持つことができる。	縦割り班で、分担場所を決め、協力して清掃作業をする。	【関】汚れの実態に気づき、進んで清掃作業に取り組もうとしている。
	D 玉の浦で遊ぼう！ (泳ごう！)	2	海に入るときに気を付けることを理解し、海水浴に楽しく参加することができる。	全校で、玉の浦に海水浴に行き、注意を守り、楽しく海水浴に参加することができる。	【知】海で泳ぐときに注意することを理解し、そのことを守って海水浴を楽しむことができる。
	B、D シュノーケリングを体験しよう	5	シュノーケリングの方法を学ぶと共に、海中の生物の観察を行い生物の多様性に気づく。	シュノーケリングの方法を学習する。海底のようすや海洋生物を観察する。	【知】海洋生物の多様性や身体をつくりを理解する。【関】海洋レクリエーションに積極的に取り組む。
二学期	D 水産試験場に行こう！	2	水産試験場の見学や職員から魚介類の養殖について説明を受ける中で、水産資源の大切さを理解することができる。	串本の水産試験場を見学し、職員の方から説明を受け、感想等を書く。	【知】養殖等の理解を深め、水産資源の大切さを理解することができる。
	B 地震・津波について	2	学校や自宅周辺の避難場所を知り、様々な避難方法を考えることができる。	タウンウォッチングや防災マップ作りを通して、避難場所や避難方法を理解する。	【関】地震・津波に備えて、タウンウォッチングや防災マップ作りに取り組もうとしている。
	B 「海の時間」学習したことをグループでまとめ、発表する。	2	「海ガメの飼育・調査」等で学習したことを、その感想なども含め、まとめることができる。	グループでテーマ(海ガメの飼育・観察・調査)を決めて、模造紙等にまとめ発表する。	【技】「海の時間」で学習したこと(海ガメの生態等)について、模造紙等にまとめることができる。

(区分 A：海に親しむ B：海を知る C：海を守る D：海を利用する)

平成 29 年度「海の時間」年間指導計画 第 6 学年

学期	区分・単元名	時数	目 標	学習活動	評価規準
一学期	A 海の絵を描こう！	3	漁港に行って、漁船などを絵で表現することができる。	漁港に写生会に行き、漁船等の絵を描く。	【関】漁港に行って、漁船などを進んで絵に描こうとしている。
	B 地震・津波について	2	地震発生のメカニズムを知り、津波の特徴を理解する。	「(県) 防災教育指導の手引」を使って、地震発生のメカニズム、津波の特徴について、学習する。	【知】地震発生のメカニズムや津波の特徴について理解している。
	C 大浜をきれいにしよう！	2	大浜の清掃作業を通して、汚れの実態に気づくとともに、海の自然を守っていかうとする気持ちを持つことができる。	縦割り班で、分担場所を決め、協力して清掃作業をする。	【関】汚れの実態に気づき、進んで清掃作業に取り組もうとしている。
	D 玉の浦で遊ぼう！ (泳ごう！)	2	海に入るときに気を付けることを理解し、海水浴に楽しく参加することができる。	全校で、玉の浦に海水浴に行き、注意を守り、楽しく海水浴に参加することができる。	【知】海で泳ぐときに注意することを理解し、そのことを守って海水浴を楽しむことができる。
	B、D シュノーケリングを体験しよう	5	シュノーケリングの方法を学ぶと共に、海中の生物の観察を行い生物の多様性に気づく。	シュノーケリングの方法を学習する。海底のようすや海洋生物を観察する。	【知】海洋生物の多様性や身体づくりを理解する。【関】海洋レクリエーションに積極的に取り組む。
二学期	D 水産試験場に行こう！	4	水産試験場の見学や職員から魚介類の養殖について説明を受ける中で、水産資源の大切さを理解することができる。	串本の水産試験場を見学し、職員の方から説明を受け、感想等を書く。	【知】養殖等の理解を深め、水産資源の大切さを理解することができる。
	B 地震・津波について	3	津波発生時に率先して避難する意識を持つことができる。	「(県) 防災教育指導の手引」を使って、東日本大震災の教訓等から、津波からの避難方法を知る。(釜石の奇跡等)	【知】東日本大震災の教訓から、津波発生時に率先して避難することの大切さを理解する。
	C 環境問題について	4	「海の時間」を中心とした学習をふりかえり、自然の環境保全や共生について考え、自分たちにできることを考え、実行しようとするすることができる。	1年間の「海の時間」の学習をふりかえり、環境問題について、自分たちの考えをまとめ発表する。	【関】「海の時間」での様々な学習を通して、海の自然環境を守ることの大切さを理解し、進んで環境を守ろうとしている。

(区分 A：海に親しむ B：海を知る C：海を守る D：海を利用する)

『串本海中公園における体験活動』実施要項

下里小学校
平成 29 年 9 月 1 日(金)

1. 目的：海中公園の見学を通して、海洋生物についての知識・関心を深める。
2. 日程：9月19日(火) 1・2年生 (雨天実施)
3. 給食の措置：天候に関わらずお弁当日とする。
4. 参加学年：1年生(男子6名；女子5名 計11名)
2年生(男子5名；女子8名 計13名)
5. 引率：灰戸教諭(1年担任)、濱田教諭(2年担任)、岡校長(自家用車)
6. 担当：企画(濱田、灰戸)、会計(岡)、安全指導(岡)、
児童管理・指導(濱田、灰戸)、町バス(中田)
7. 日程詳細
往路・復路：町バス利用
8:50 集合
9:00 学校発
9:50 串本海中公園着
10:00 うみがめエサやり体験
11:00 ステラマリス乗船体験(25分)【欠航時：バックヤードツアー】
11:40 3Dうみがめシアター鑑賞(15分)
12:00 昼食・館内見学
13:10 串本海中公園発
14:00 学校着
8. 町バス予約状況：8月19日(火)予約済み

9. 当日の持ち物：

- 〈児童〉お弁当、水筒、タオル、赤白帽（酔い止め）等
- 〈学校〉お弁当、水筒、タオル、救急箱、デジカメ

10. 費用：

【ステラマリス乗船可能時】 39,660円

- ・体験学習費用（2,400円）
200円（うみがめのエサ1カプセル）×24人÷2=2,400円
※2人で1つ購入
- ・入館料+ステラマリス乗船料（37,260円）
児童 1,260円×24人=30,240円
職員 1,260円×3人=7,020円

【ステラマリス欠航時】 27,240円

- ・体験学習費用（2,400円）
200円（うみがめのエサ1カプセル）×24人÷2=2,400円
※2人で1つ購入
- ・入館料+バックヤード料（24,840円）
児童 840円（入館料720円+バックヤード315円）×24名=24,840円
職員 0円（入館料0円+バックヤード料0円）×3名=0円

11. 場所： 〒649-3514 和歌山県東牟婁郡串本町有田 1157



5年担任 榎本 昭徳

6年担任 温水 起美好

『マグロ缶・干物作り体験』の実施について

春寒の候、ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。日頃は学校教育活動にご支援、ご協力頂き誠にありがとうございます。さて、この度下記の日程で体験活動を実施する予定にしています。海洋教育の一環として地域の海に関する産業を学習します。充実した体験になるよう、事前の学習からしっかり準備したいと思っております。

記

1. 目的 海洋教育における地域の海に関する産業を知る学習の一環として、まぐろ体験CANにおいて缶詰め作り・干物作りを体験する。

2. 日程 2月8日(月) 午前 6年生 午後 5年生

6年生

8:40 学校発
8:55 まぐろ、CAN 着
9:00 マグロ缶作り体験
11:55 まぐろ体験CAN 発
12:10 学校 着

5年生

12:40 学校 発
12:55 まぐろ体験CAN 着
13:00 マグロ干物作り体験
15:05 まぐろ体験CAN 発
15:20 学校 着

場 所 那智勝浦町観光協会 まぐろ体験CAN
(住所:649-5335 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町築地7丁目12)

3. 引 率 6年生:温水起美好、岡 史博(校長)
5年生:榎本 昭徳、中地 直樹、岡 史博(校長)

4. 持ち物
マスク、ハンドタオル、水筒、赤白帽

2017年6月8日

5年担任 榎本 昭徳

6年担任 温水 起美好

海洋教育パイオニアスクールプログラム

『シュノーケリング体験・海洋生物の観察』の実施要項

1. 目的 海洋教育の一環としてシュノーケリングの実習を通して自然環境への理解を深めると共に、海洋生物についての知識も深め、教科学習（理科）への関心を高める。

2. 日程 7月10日（月） 6年生

7月11日（火） 5年生 予備日 11日（火）、13日（木）、14日（金）

※6年生は 10日（月）11日（火）、5年生は 11日（火）13日（木）はお弁当の日とします。

8：30 学校発

9：00 南紀シーマンズクラブ着

9：30 シュノーケリング体験学習

11：30 昼食・休憩



（復路）

※10日・11日

12：30 海洋生物観察

JR 利用の場合

14：10 南紀シーマンズクラブ発（10日・11日）

14：48 JR 串本駅 発

15：17 浦神駅 着

15：23 下里駅 着 解散

※13日・14日

町バス利用の場合

14：30 南紀シーマンズクラブ発（13日・14日）

14：50 浦神駅 着

15：00 下里小学校 着 解散

※日程により復路交通機関が変更となります。

3. 場所 串本町串本630 〔協力 南紀シーマンズクラブ〕

4. 引率 榎本 昭徳、温水 起美好、小畑 泰成、岡 史博（校長）

5. 持ち物 水着、スイミングキャップ、バスタオル、お弁当、水筒、筆記用具、ノート、着替え（必要に応じて）、リュック等

6. ※今回のシュノーケリング体験学習では、ウエットスーツ・水中めがねを着用し、浮いた状態で海中の生物を観察します。潜水はしませんので泳力はそれほど必要としません。南紀シーマンズクラブの専門スタッフのもとグループに分かれて活動します。

7. ※ シュノーケリングは天候だけでなく、波の状態にも影響されますので、最低2日間はお弁当を用意していただくこととなります。

ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。